

令和3年度の保険料のお知らせ

令和3年度の保険料につきましては、7月に個別にお知らせします。

保険料の計算方法

$$\begin{array}{r} \text{均等割} \\ \text{(1人当たりの額)} \\ \text{52,048円} \end{array} + \begin{array}{r} \text{所得割} \\ \text{(本人の所得に応じた額)} \\ \text{(令和2年中の所得 - 43万円) ×} \\ \text{10.98\%} \end{array} = \begin{array}{r} \text{1年間の保険料} \\ \text{(限度額 64万円)} \\ \text{(100円未満切り捨て)} \end{array}$$

1年間の保険料の上限額は64万円です。

所得の少ない方は、世帯主や被保険者の所得に応じて保険料が軽減されます。

年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。

保険料のお支払い方法

保険料のお支払いは、「年金からのお支払い」と「口座振替」を選ぶことができます。

口座振替を希望される方は役場住民課保険グループにお問い合わせください。

次のいずれかに当てはまる方は、「年金からのお支払い」ができないため、「納入通知書」や「口座振替」により納めていただきます。

年金からのお支払いができない場合

- ・介護保険料が年金から引かれていない方（年金額が年額18万円未満の方）
- ・介護保険と後期高齢者医療の保険料の合計額が、介護保険料が引かれている年金の受給額の半分以上を超える方

※保険料のお支払いが困難な場合は住民課保険グループへご相談ください。災害、失業などによる所得の大幅な減少、その他特別の事情で生活が著しく困窮し、保険料のお支払いが困難な方については、保険料の減免を受けられる場合があります。

ジェネリック医薬品を利用するには

ジェネリック医薬品とは

医療機関で処方される薬には、新薬（先発医薬品）とジェネリック医薬品（後発医薬品）があります。新薬と同等の効果・効能を持ち、厚生労働省の基準を満たしている安全なお薬です。

ジェネリック医薬品を利用すると、お薬代が安くなります。薬によって異なりますが、新薬より3割以上、中には5割以上安くなるものもあります。

※ご希望される場合は、必ず主治医や薬剤師によく相談しましょう。

ジェネリック医薬品を希望される方は

ジェネリック医薬品の処方を希望される方は、医師や薬剤師にその旨を伝えるか、医療機関や薬局の窓口に「希望カード」を提示することによりお願いすることができます。

希望カードが必要な方は住民課保険グループまでお問い合わせください。

【お問合せ先】

役場住民課保険グループ

TEL 0164-32-2410